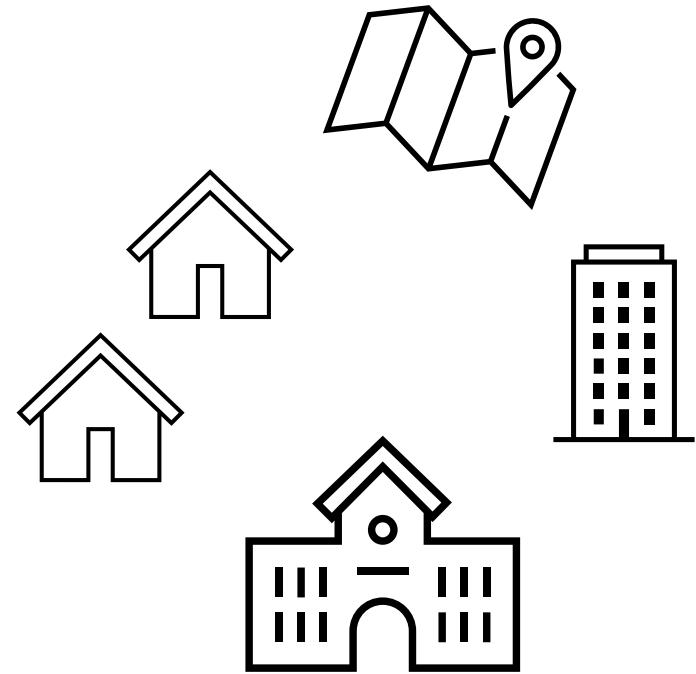


と



北海道大学 天田顕徳



と

は結構重要なんじゃないかな？？

というのが話題提供のポイント。

本日は羽黒山スギ並木保全「と」まちづくりシンポジウム

「スギ並木保全」と「まちづくり」は何故くっついているのか。

►経緯を振り返る 通称「スギまち協議会」

2023年地域有志により設立
事務局を鶴岡市におく官民連携の活動

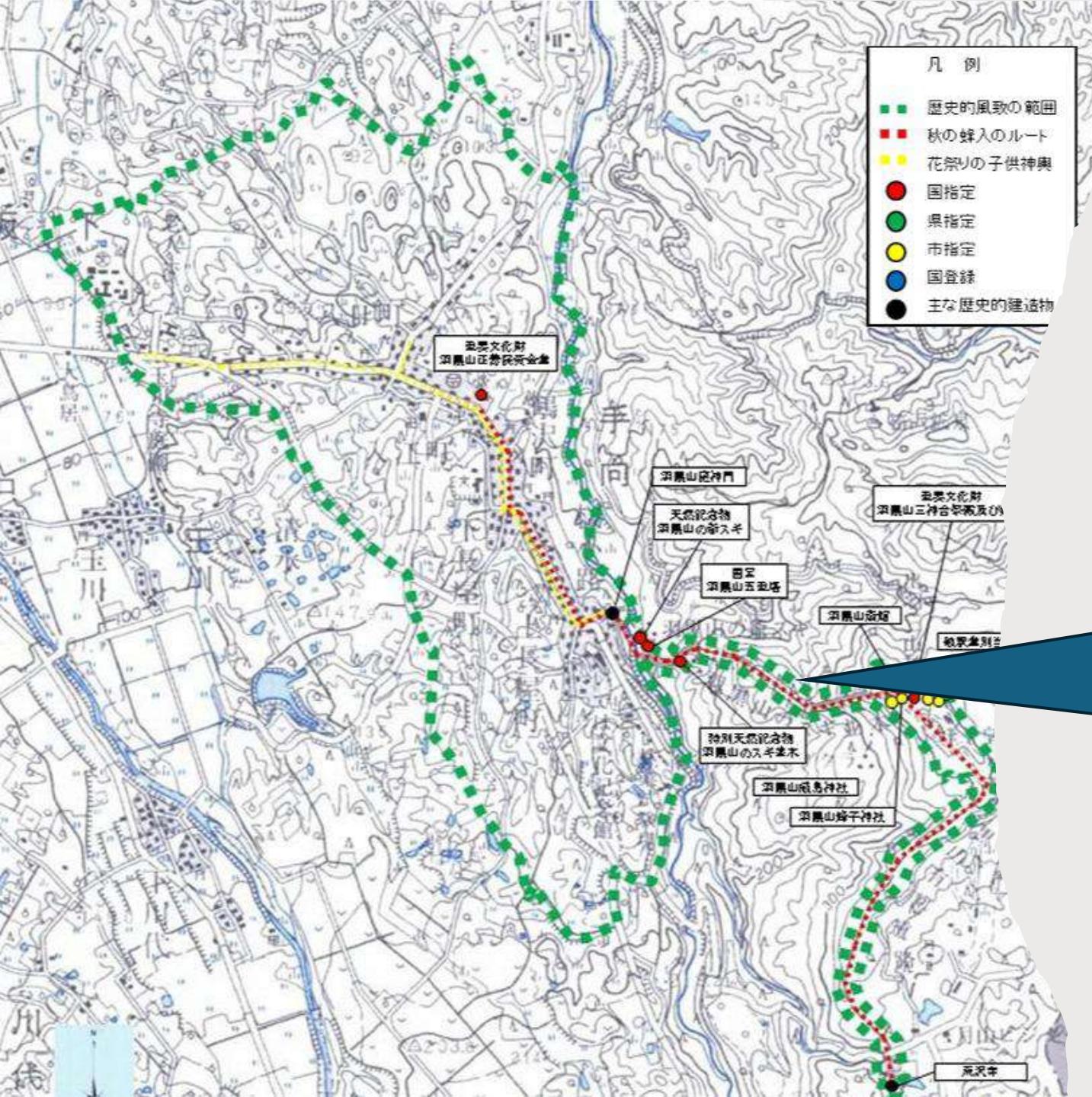
確認しておきたい経緯

「歴史まちづくり法」に基づく
歴史的風致維持向上計画（第2期）



写真出展<https://dewagateway.jp/news/shidousiki/>

出羽三山神社と 祭礼にみる 歴史的風致



参道のスギ並木が重点区域に。

出羽三山神社の門前町である羽黒手向地区では、出羽三山信仰に関わる固有の文化や生活様式が今も地域の人々の手により大切に継承されており、出羽三山参りに全国から詣でる人々が精進潔斎する宿坊では、その営みが生業として受け継がれ、古来からの宿坊街の街並みには、当時の面影が色濃く残されている。

(中略)

しかし、少子高齢化・人口減少の進行により出羽三山信仰を支えていた「講」の来訪が減少するとともに、伝統的な祭事や宿坊の担い手が不足しており、来訪者とそれを迎える人々の相互交流により育まれた羽黒手向地区固有の伝統文化の継承が困難になっている。また、生活スタイルの変化に伴う現代的な住宅等建物の増加、空き家や空き地の増加など、宿坊街の歴史的風致の維持に課題が残されている。

門前町から出羽三山神社を結ぶ参道とその周辺のスギ並木は、**その歴史的価値が改めて認識され、参道及びスギ並木の保全と活用に向けた新たな取り組みが進められている。**これらを踏まえ、手向地区の住民との連携を図りながら、地域が抱える課題を解決し、歴史的風致の維持向上と景観の保全を図るため、宿坊街を中心とした羽黒手向地区門前町10集落及び祭礼行事に係る参道とスギ並木周辺の範囲を重点区域と定めるものである。（鶴岡市歴史的風致維持向上計画（第2期）計画書p.190より）

スギまち協議会規約より

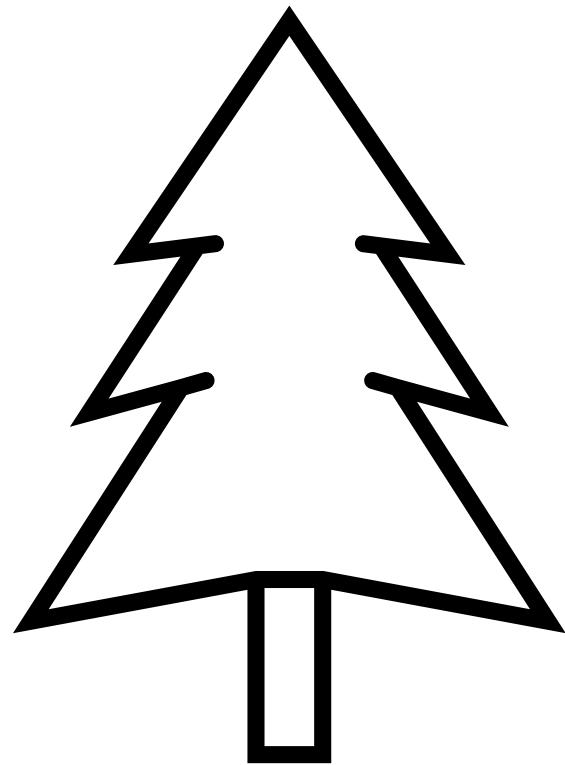
（目的）

第2条 協議会は、固有の自然環境と文化により育まれた羽黒山スギ並木の保全と、羽黒山スギ並木等と密接に関係する出羽三山及び手向地区（以下「山上山下」という。）の歴史文化の承継のための活動を行うことで、山上山下の持続的な発展に資することを目的とする。

→「歴史文化の象徴」としてのスギ並木の価値に重点が置かれている

第一部を振り返ると

- 先人から受け継いだ「山上山下の歴史や文化」は**地域の武器**。
- それに注目したのが市の「持続可能な歴史・観光まちづくり推進事業」。
- 「山上山下の歴史や文化」は**扇の要**。
→「スギ並木保全」、「まちづくり」単体では効果が薄い。
要をしっかりとおさえることが「スギ並木保全」にも「まちづくり」にも資する。



と

「と」がとても重要！



以上です。